

令和4年度 第2回お互いさま推進協議会 議事録

- 1 開催日時：令和4年9月6日（火） 午後6時30分～午後7時58分
- 2 開催場所：二宮町役場 第1会議室
- 3 出席者：お互いさま推進協議会委員（12名）欠席3名
事務局：健康福祉部長、高齢介護課長、高齢介護課高齢福祉班長、
高齢介護課高齢福祉班員（3名）
- 4 議題
 1. あいさつ
 2. 議題
 - (1) 地域の情報について
 - ・シルバー緊急通報システムのリニューアルについて
 - ・コロナ禍での通いの場の状況について
 - ・その他
 - (2) 見守りガイドについて（案）
 - (3) 情報の発信やつながりについて
 - ・第2層の協議体（たんぼぼささえたい、クローバーの笑・和・輪、いちふく）について
 3. その他
 - ・認知症講演会について
 - ・介護予防ボランティア養成講座について
 - ・運転ボランティア養成講座について
 - ・令和4年度の予定

5 議事録

1. あいさつ

事務局

定刻となりましたので、これより二宮町お互いさま推進協議会を開会いたします。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。まずは配付資料の確認をしたいと思います。

（配付資料の確認）

それでは次第に沿って進めさせていただきます。初めに依田会長よりごあいさつをお願いいたします。

会長 (あいさつ)

事務局 ありがとうございます。続きまして傍聴者の確認を行いますが、本日傍聴者はありません。また、本日は社会福祉士の相談援助実習にて大学生が参加していますので、よろしくをお願いいたします。

2. 議題

(1) 地域の情報について

・シルバー緊急通報システムのリニューアルについて

会長 それではこのことについて、委員より説明をお願いします。

委員 今年の4月より委託先を変更しています。今までは固定電話回線が無いと設置ができなかったのですが、新たなシステムは固定電話回線が無くても利用できるようになりました。現在、問い合わせ及び申込を多くいただいている状況であります。

その他、ご家族へメールで見守り情報を配信できる機能など、今までになかった機能の搭載もされています。今回お配りをしている資料に簡単な説明などを記載してございますので、ご一読いただければと思います。

今まで177世帯の方に利用していただいておりますが、うち150世帯くらいの方が継続して利用を希望されており、機器の入れ替えを順次行っている状況です。また、7月より新規申込の受付を開始しており、約30件の申込をいただいております。

周りの方で気になる方等いらっしゃれば、本システムのご利用を勧めていただければと思っています。

会長 これは広報7月号に掲載されており、特集となっていましたね。内容も従前より充実しており、必要な方がいればPRをしていただければ良いと思います。

この件について、何かご質問等ございますか。

委員 会社のステッカーも付けていただけると聞いていますが、そのステッカーを貼ることで、高齢者の家ということがわかってしまいます。ステッカーを外すことはできるのでしょうか。

委員 ステッカーは外すこともできます。また状況に応じ、貼る場所なども調整できます。

委員 もう1点。ペンダントですが、あれは防水でしょうか。

委員 従前と変わらず、防水です。

委員 今日別の会議があったのですが、そこでは防水ではないので、お風呂場などには持ち込めないということを聞きましたが、そうではないということですね。

会長 確かにステッカーが貼ってあると、目をつける人もいますよね。ただ、それは外すこともできるということですね。

委員 はい。お申し出いただければ対応します。

委員 今申込をされている方は、最終的にどのくらいの時期に設置ができますか。

委員 当初の予定では、9月末までに移行される方の工事を予定していましたが。現在の状況は、移行の方は概ね工事が終了していると聞いています。ついては、新規設置工事に順次移行するとのことでしたので、会社より利用申込者の方へ連絡をしている段階であります。

委員 申込はしたけれど、連絡がなかなか来ないと話している方もいましたので、伺いました。

委員 従前のシステムを利用されていた方全員に意思確認をしているのでしょうか。

委員 案内を対象者へ送付しまして、更新するかしないかの確認をしています。また、従前のシステムの契約は9月末で終了してしまうので、継続して利用することはできません。いずれにしても見守りが必要な方には、継続していただくことでお願いをしています。

・コロナ禍での通いの場の状況について

会長 次の議題に移ります。この件について説明をお願いします。

委員 現在、新型コロナウイルス感染者数も増えている中、8月の通いの場は夏休みの場所も多く、開催回数自体が少ないということもありますが、9月からは大半の地区で活動を再開されています。色々な地区より相談はありますが、感染者数が多い中で開催するのはどうかという声も挙がっています。そこまで多くはありませんが休止している地区もあります。

本日ご参加いただいている委員の中にも通いの場に参加されている方もいらっしゃるので、地区の現状なども伺えればと思っています。

副会長 百合が丘は、9月についてはまだ1回しか実施していませんが、前回開催した際には12名の参加者がおりました。皆さんは良かったとおっしゃっていました。皆さん開催を楽しみにしています。

委員 百合が丘は1、2、3とありますが、全て開催をしていますよね。

副会長 そうですね。ただし、映画上映会については、都合により中止いたしました。

委員 私の地区は、4月から8月31日までの間で、一般の方と役員の方含め、1回あたり13.6名の参加がありました。特に中止期間なく開催をしています。先日金剛院にて開催をした際には、雨が降っていましたので、中止も検討しましたが、参加される方がいたので、体操をしたりゲームをしたりしました。やはり開催を待っている方がいらっしゃいますが、コロナで参加者が少なくなっています。9月以降も開催をしていく予定です。

委員 越地・釜野地区ですね。こちらの地区は、他地区ではできていない屋外での通いの場を行っています。年4回を予定していますよね。皆さん参加を楽しみにしているとお話がありました。開催を支えるボランティアの方もこのコロナ禍で苦勞されている部分もあるかと思います。その辺りはいかがでしょうか。

委員 私たちが率先して来てほしいということはありませんが、ご自身の意思で参加される方を歓迎する姿勢でいます。屋外での活動は年4回ありますが、うち2回は金剛院のお寺の跡地で行います。残りの2回は小児病院跡地にて行います。小児病院跡地で開催する際は、運動などをした後、海岸へ出て、それぞれの自宅へ帰るという流れで行っています。

委員 緑が丘はいかがですか。

委員 緑が丘は8月を休止としています。9月以降については、再開する予定でいます。

また、私はいちふくの会長をしております。百合が丘、一色、緑が丘の3地区で構成される会です。6月30日、8月29日に開催をしています。メンバーは13名程度で、地区の民生委員や地域の方が参画されています。一色及び緑が丘が各2名、百合が丘が9名です。また、町高齢介護課、地域包括支援センター、社会福祉協議会からも参加していただいています。会の情報交換の中では、やはり参加人数が減ってきているということでした。

8月29日の会合では、地域で感染者が出たことで、一色の通いの場合は9月の活動を休止するという事になったと聞いています。そういった話が出ると、高齢者の方が多いので、開催が難しくなるのかなと思われました。その他、6月には暑い日があったと思いますが、参加者がしんどいという話もありました。

また、参加者が毎回同じ人が多く、年々高齢化が進んでいます。その際の移動手段がないことで、参加が難しくなっていると。また、デイサービス等を利用されている方もおり、なかなか参加が難しいということもあります。

その他、「おーるうえいず」や「ほほえみの会」、「みかんの会」の話も出たり、コミュニティバスの話も出ていました。

話は変わりますが、各地区にゆめクラブがあります。こちらも移動手段が無いことが課題としてあります。町の運動場へ行く際は、かなり苦勞しています。前にグラウンドゴルフ大会を開催した際も、急に雨が降ってきて、帰りが一斉になってしまいました。帰りの移動手段がなく、濡れながら帰宅した方も多くおります。

いちふくでは、コミュニティダイニングというところが百合が丘商店街にありまして、毎月最終月曜日にはいちふくにて、11時から13時の間、軽食スペースを開いたりしています。また、その際に認知症カフェも併せて開催をしています。

委員 ありがとうございます。やはりどの会場でも、コロナ禍で活動を自粛したり、参加者が減っていたりするなど、様々な現状があります。

先ほど一色地区の話が出ましたが、百合が丘、緑が丘と山や坂がある地区は移動の面での課題が出ています。

委員 元町北では、毎週月曜日に開催をしています。ボランティアの方や社

協部会の方が支えています。当番制で、毎月1回程度参加をします。衛生面での気遣いを心がけており、蛇口やドアノブを開始前後に消毒、掃除をしたりしています。やはり皆さん楽しみにされている様子です。メニューに、体操をしたり、歌を歌ったりするものや、栄養の講座、元町駐在所の方に講話をしていただいたり、色々と考えております。おおよそですが、30～40名程度参加をされています。

また、夏場は麦茶を用意しています。

委員 コロナ禍で気を配らないといけないことも増えて、負担が増えているような印象ですね。

会長 私は中里地区ですが、ボランティアで年に何回か参加をしています。8月は休止をしていたようですが、9月からは予定通り開催をしているということです。人数は以前と比較すると少し減っているような印象があります。

委員 中里地区は先日私も参加しましたが、以前ときほど変わらない印象でした。

会長 先ほど、参加者の高齢化の話が出ましたが、ボランティアの高齢化も進んでいます。その他、地域の情報についてありますか。

委員 お祭りや盆踊りがこの夏はありませんでした。その代わりに、地引網の開催を検討していましたが、結局感染者が増えたことで中止となりました。この地引網はお子さんが中心となったものでしたので、とても残念です。

委員 自治会の計画がなかなか実施できず、8月はほとんど動きが無かったです。私も民生委員としての活動について、訪問等をして良いかわからず、思うように活動ができませんでした。

委員 私はお囃子をやっていますが、上中下町は略式でお祭りがありました。袖ヶ浦プール横の広場で、山車は密になってしまうので、外に平置きのお太鼓、お囃子を各地区時間を分けて発表するものでした。そこに合わせ、各地区練習を行いました。中町に関しては、少人数の練習として、こまめに消毒を行ったり、なるべく血縁の近い人達を同じ練習日にしたりして対応していました。また、お祭りの前夜には、参加者へ簡易検査キットを配布し、その結果をグループLINEにて報告、陰性であると

いうことを証明した上で、当日参加をしています。当日の飲料なども全てペットボトルで、各々名前を書いて、飲みかけを戻さないようにしたり等、衛生面のルールをいくつか作ったうえで共通認識を持ち、開催をしています。3年ぶりの開催となり、とても楽しい時間でした。

また、10月に開催をする民族芸能のつどいについては、来週会議を行い、開催の可否を決めるということですが、中町としては、そこへ向け、コロナ対策をしつつ練習を再開しています。また、当日の前には8月と同様、簡易検査キットを使用することを検討しています。

会長 ありがとうございます。やはり様々な対策をしつつ、工夫をしているところもあるんですね。
それでは次の議題に移ります。

(2) 見守りガイドについて (案)

事務局 資料2をお願いします。前回の会議でも見守りの大切さについて、住民や団体の方に広げる活動として、冊子を作成するのにあたり、委員の皆様からもご意見を伺いました。まだ、案ではありますが、素案を作成したので、ご意見をいただきたいと思っています。なるべく文字を大きく、詰め込みすぎないようにしたいと思っています。サイズはA3で2つ折りくらいの大きさを想定しています。

(資料2に基づき説明)

今日この時間でご意見をいただくのも難しいと思いますので、後日でも構いません。

会長 なかなか短い時間でご意見を伺うことも難しいと思いますので、気が付いたことや意見があれば、この場でなくとも改めて別の時間でいただいても良いかと思います。目を通していただいて、何かご意見等ありますか。

委員 今までに高齢介護課で相談のあった事例を入れてみるのはいかがでしょうか。例があれば、どういった時に相談すれば良いかわかりやすいと思います。

会長 確かにわかりやすい例があれば良いですね。

委員 こういったことは地域が大切だと思います。各地域に連絡できる場所が

あれば良いのかなと思います。地域の方が普段見守りをされていて、何かあったときに、町に連絡するのは敷居が高くなるので、自治会や民生委員などへ連絡してほしい旨記載があると良いと思います。各地域でアレンジのできる作りがあればと思います。

会長 キーパーソンが不在の場合、家族はいるけれども関係性が断絶してしまっているという困難なケースも最近はい多いように感じています。そういった方に対する見守りは、このようにすれば良いなどということはありませんか。

委員 介護保険のサービスを利用するところからスタートして、ヘルパーさんなどが訪問をしてもらうことをきっかけに、様子を伺うということをしています。また、その人だけでなく、近隣の方の情報がヘルパーさんへ入ったり、私たちにも入ったりします。ご家族が遠方でなかなか連絡が取れない方も多くありますが、本人が嫌がってしまうとなかなかアプローチがしづらいです。そこは難しいと思います。

会長 近隣の方に参加してもらうことで、色々な見守りができるかなという気がしますが、その辺の情報公開は難しいと思います。

委員 ヘルパーさんや私たちが訪問すると、近隣の方も、気にしてくれる方は、会社の車が止まっていると来てくれて、色々とお話をしてくださるので、とてもありがたいと思っております。

委員 見守りの中で、知っておけばよい見守りというものがあります。親子が1つの家に別々になって住んでいる。様子を見ると、身なりが整っていなかったりして気になることがあります。その場合どうしたら良いかということがありました。本人たちはSOSを出しているわけではなく、見守ることしかできないケースもあります。何でもかんでも言えば良いというわけではないこともあります。ゆくゆくは生活に困ってしまうので、その際に助ける見守りということもあるのではないかと思います。

会長 この協議会は、生活支援という大きな柱がありますが、あるところでは専門的なことも出てきます。そういったところと、地域との連携が上手くできれば良いのかなと思います。

委員 地域の方の話も大切ですが、自身の目を見たことが信用できる情報と思います。周囲の方でも色々なことを言われる方もいるので、それに惑

わされないようにしなくてはいけないとは思っています。

我々が訪問して、汚くて、ゴキブリも沢山いるような家でも本人たちは何とも思っていないということもあります。本人たちは普通に生活できているのに、もちろんカビなどが原因で体調不良をきたすということは問題かとは思いますが、そうでもないのであれば、環境を改善するかどうかといっても、本人たちが良しとしているのであれば、静観することでも良いと思いますし、その線引きが難しいと思います。

会長

見守りと言っても、幅が広いと思います。文書を読むとさりげなくということが見えるような気がします。見守りと言っても、お互いさまの見守り活動が中心になるかなと思います。ただ、それがケースによってはヘルパーが入るかもしれないし、通院や病院へ行くことになるかもしれないし、その辺で気が付いたことがあって電話をすれば高齢介護課が相談の受け手を振ってくれるということなのでしょうかね。

委員

例えば、この冊子を見て高齢介護課へ連絡したとします。繋いだ方が、その結果どうなったのかということが連絡してくださった方に共有されていないということがあります。そういったことであれば、先ほど委員がおっしゃったように、一度民生委員へ話を共有してもらい、民生委員がそれを把握していれば、情報を提供してくださった方へ、「動いているので大丈夫ですよ」と声を掛けることができます。そうすることで、過度な介入が防げるのではと思います。

私が民生委員をしていた時も、ついつい深く入ってしまうこともありました。地域で静観する体制づくりということも必要かと思えます。

会長

色々な情報が集まりますが、その情報の正確さも必要となってくるでしょうし、高齢介護課と地域との繋がり、チームで解決をすることが必要となってくるかと思えます。その辺も含め、この見守りガイドについて感じたこと、こうしたほうが良いとのご意見をお願いしました。この短い時間ですとなかなか出てこないこともありますが、今日出た意見を参考にして、何か良い案があれば高齢介護課へお願いしたいと思えます。

それでは次の議題に移ります。

(3) 情報の発信やつながりについて

・第2層の協議体（たんぼぼささえたい、クローバーの笑・和・輪、いちふく）について

委員

それでは第2層協議体について、お話をさせていただきます。たんぼ

ぽささえたい（以下、たんぽぽ）ですが、第1回を5月25日に開催し、そこで共有させていただいた内容につきまして、お配りしている生活支援コーディネーターだよりの裏面に掲載をしています。担い手をテーマに意見交換をしました。その中で、今ある活動以外に、新たに活動をされている方がもう少し見えると良いですねという話もあった中、たんぽぽでは、8月9日に第2回の開催をしています。その際、「にのみや農園」とはどんな活動をしているのだろうと話にあがりまして、「にのみや農園」の二見さんにご参加いただき、現在の活動についてお話をいただきました。20名に参加をいただき、うち新たに参加をされた方が5名おりました。この時は、地域で活動をされている方へお声を掛けさせていただき、今二宮町でこういった活動をしているということを紹介してもらう形での開催となっています。資料3の2枚目には、開催時の話の内容について抜粋して記載をしています。二見さんの話を聞いた中で、現在皆さんが今行っている活動のことや、感想を伺いながら、今までの協議体は、活動の紹介、話し合いが中心で、今後こんなことがあったら良いねという内容でしたが、今回新たな活動をされている方の話を伺う機会をいただき、皆さんも知らないことが多くあったということもわかりました。

次回は11月の開催を予定していますが、そこへ向けて新たにお話をしてくださる方を探しつつ、活動されている方同士が繋がれる場にしたいと思っています。

続きまして、クローバーの笑・和・輪（以下、クローバー）についてです。クローバーは第1回を5月26日に開催をしています。担い手をテーマにこちらも意見交換等をしています。こちらでも新たに活動をされている方の話も伺いたいとのことで、第2回を8月16日に開催しています。参加者は20名、うち新たに参加された方が5名おりました。資料4に記載のございます、「もりびとNOA」の一石さんにご参加をいただき、現在の活動内容についてお話をいただきました。この「もりびとNOA」の活動は、先ほどお話をいたしました二見さんとも一緒に活動をされています。農業や様々な遊びを通じ、多くの世代の方が繋がる場であると伺っています。資料4の3枚目に話し合った内容を掲載しています。

委員

いちふくについて、私よりお話をさせていただきます。コミューナルダイニングは毎月最終週の月曜日に活動をしています。誰でも参加ができる場としています。

また、会議も6月、8月と開催をしており、通いの場や地域での活動の話を聞いています。話の中では、先ほどもお話をしましたが、様々な

活動に対しての参加者の移動手段について話があがりました。また、通いの場など、参加者の平均年齢等を把握しておかないと、次の活動に生かせないということ、なかなか次の世代が入ってこない現状があり、活動の方向性を考えるにも必要な情報であるという話も出ました。

コミュニティが形成されないと、なかなか新たな世代の参加が難しいということです。それを行政が行うか、自治会が行うかということはわかりませんが、コミュニティが作りやすい地域づくりということが必要かと思えます。

ゆめクラブでも単位クラブは減っているし、70代の方が少ないと思います。そうなると活動をするのも厳しくなり、活発に活動ができないです。会員数も現在1,000名程度であり、それも課題です。

お互いを知るためにも、コミュニティが必要であると感じています。

会長

今までの団体、組織でも担い手がいないということ、この会議でもテーマとして話し合いを行いました。また、生活支援コーディネーターだよりも担い手をテーマに意見交換をした結果を記載しておりますけれども、その1つ1つが課題であると考えなければいけないことだと思います。活動していることを知ってもらうことで興味を持ってくれる方もいれば、若い世代は自身に興味のあることは一生懸命に取り組むということもあります。逆にそこをきっかけとして、地域全体に何か影響が出てくるのではないかということも含め、先ほどの「にのみや農園」、「もりびとNOA」の話が出てきます。二宮町はそこまで広いというわけでもありませんので、コミュニティづくりのきっかけとなるのかなという気はします。その辺について、それぞれの地域の協議体の話も踏まえ、ご意見等ありますか。

委員

話し合いを行っていますが、我々だけがその内容を知っている状況です。それを町民の方へ発信していくことも必要なのではないかと考えているのですが、発信の方法も含めて課題かと思っています。

委員

前に「みかんの会」の紹介がありましたが、若い方が活動をされています。活動内容も高齢者の見守りです。例えば「みかんの会緑が丘」などとして活動すれば、もう少し若い方との交流も深められるのかなと思います。町全体でこういった活動を行えば、若い方もこういった気持ちを持って活動をしていると理解してもらうことで、繋がっていくのかなと思いました。

委員

「みかんの会」も大学生が中心となって活動をしています。情報発信

も上手で、SNS、例えばTikTokやInstagram、Facebookを使っています。そういった方法も、若い方へ届けるには必要なのかなと思います。

委員

「にのみや農園」には、最近転入されたお母さんも参加されています。地域の活動に決して興味がないわけではありませんが、今最優先にしている、ご自身の生活、子育てなど、活動へ参加される前にやらなければいけないことがある状況です。その点を改善する、担い手になりやることができるような環境を作るということはとても大事なことと思っています。担い手になれない状況があるということが分かり、それは良かったと思っています。また、具体的に思い浮かんではいませんが、そこへどのようにアプローチをするかが大切であると思っています。

委員

担い手について、どんどん引き継いでほしいとは思いますが、できているものを引き継ぐのではなく、新たに作り上げることが簡単であると思っている方も多く、継承することが難しい時代であるのならば、ゆめクラブでも、通いの場でも途切れてしまったらそこまで。次を考えることも必要かと思っています。「みかんの会」も誰かに言われて行っているわけではなく、本人たちが気づき、思ったように活動をしているので継続できているものと思うので、やっている方が良いということを発信して、自身の地域でも良いなと思えば立ち上がるものだと思います。地区長が誰さんと誰さん、この活動が良いからやってほしいと言っても、それを形にするのは難しいと思います。そうではない、「にのみや農園」や「もりびとNOA」のように、ふらっと参加して、楽しみ、その中で情報を得て、何か地域でできることはないかということで、繋がった方が受けが良いと思います。地域から落とすと、ハードルが上がってしまうと思います。

委員

まず興味のある部分から入って行って、そこが入口となり、地域に繋がっていくということですね。

委員

地域が違ったとしても、世代が繋がれば、それは二宮の中で繋がっていくことになると思います。

会長

たんぼぼでもクローバーでも、自分の興味があることであれば、少し大変でも参加をすることがあるかなと感じます。それから、地域という言葉が抽象的ですが、町の福祉計画のアンケート中で、20代くらいの方は、町全体を地域として考えていると。我々の世代だと町内の各地域、自治会として捉えると。その辺の認識も異なります。先ほども出ました

が、途切れてしまったら、新たに作るということも発想としてはあるのかもしれないし、逆にそうならないように繋いでいくこと、情報を発信して、何かできることをやらないかと、そういった投げかけをしないとなかなか参加してくれないのかなと感じました。

委員 今の若い方は、SNS を利用している方がほとんどです。アカウントを作って発信していくことは良いことかなと思います。担い手も見つからないという状況もあるので、SNS を使うのも1つの手ではないかなと思います。活動の様子を写真で紹介するだけでも全然違うと思います。

会長 町の広報紙や社協の会報なども紙媒体が出ますが、それをどの程度見てもらえるかはわからない部分もあります。そういう点では、情報発信を色々な角度からしていくことも必要かなと思います。

委員 お店などとも繋がれば良いと思います。繋がれば口コミなどで広まれば良いなど。個人の店舗も増えていますので、上手くそういった方と繋がればと思っています。

会長 お店に関連して、フードドライブについてファミリーマートで協力をいただいていますね。

副会長 初めのころは全然寄付が無かったのですが、この前見たらかなり多くの寄付がありました。

委員 今日店舗を見ましたが、寄付がありましたよ。

会長 お互いさまの気持ちで、このような活動もお店の間で把握していただけると、活動の幅も少しずつ広まっていくと思います。

情報の発信、色々な情報が入ってきました。これを色々な形で発信をしていくことが必要であるということでした。この協議会でも情報交換が中心でしたが、前回より担い手に絞ってきました。その中で、富士見が丘の「ほほえみの会」のように既存の組織の中で活動をしていく、あるいは「おーるうえいず」、「みかんの会」、「もりびと NOA」、「にのみや農園」など、今まで無かった活動が少しずつ出てきているのかなと思います。これをどのように情報発信して、この活動であればできそうや、私たちはこういった活動をしてみたいだとか、そういった形になっていくように考えなければいけないと思いました。また次回、続けて意見交換ができればと思います。

事務局

見守りガイドについては、経済的な活動が優先されるとの話が出ました。お子さんを連れて歩いている時でも、ここが気になるなどいうところを誰かに繋ぐ、伝えることができる活動をすることで、気に掛けあう地域づくりができると思いました。また、今日は色々な情報がありましたので、ご参加いただいた皆さんも、お仲間やご友人に広めていただくことが活動となります。

最後に、情報提供になります。資料5、6、7、8について説明をさせていただきます。

3. その他

- ・認知症講演会について
- ・介護予防ボランティア養成講座について
- ・運転ボランティア養成講座について
- ・令和4年度の予定

委員

それではご案内させていただきます。

(資料5に基づき説明)

事務局

続きまして事務局よりご案内をいたします。

(資料6、7に基づき説明)

認定ドライバー養成講座について、今回は2日間の日程となっております。少しグループワークを交えながらの開催を予定しています。続いて資料8になります。

(資料8に基づき説明)

次回は12月13日、同時刻、会場も同様です。どうぞよろしく願いいたします。

閉会 午後7時58分